

様式第1号（第8条、第9条関係）

事業者行動計画書（変更計画書）

2020年 6月 24日

（宛先）

滋賀県知事

提出者

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）

東京都中野区本町1-32-2ハーモニータワー27階

氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）

金属技研株式会社 代表取締役社長 長谷川数彦
（代理人） 滋賀工場 工場長 宮越 祐次

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例（第20条第3項・~~第20条第4項~~
~~第22条第1項~~・~~第22条第2項~~において準用する
同条例第20条第4項）の規定に基づき、事業者行動計画を 策定 ~~（変更）~~ したので、提出します。

事業者の氏名 （法人にあっては、名称 および代表者の氏名）	金属技研株式会社 代表取締役社長 長谷川 数彦
事業者の住所 （法人にあっては、主たる 事務所の所在地）	東京都中野区本町1-32-2ハーモニータワー27階

1 事業所の概要

事業所の名称	金属技研株式会社 滋賀工場					
事業所の所在地	滋賀県愛知郡愛荘町松尾寺1066					
主たる事業	細分類番号	2	4	6	5	金属熱処理業
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を 県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室 効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を 県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者					

2 計画の内容

計画の内容	別添のとおり
-------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

標準様式第1号

(第1面)

1 計画期間

計 画 期 間	2020	年度	～	2022	年度
---------	------	----	---	------	----

2 低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

「別紙のとおり」(金属技研株式会社 滋賀工場 環境方針)

3 低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制

「別紙のとおり」(環境マネジメント推進体制)

備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

金属技研株式会社 滋賀工場 環境方針

【 基本理念 】

当工場は、航空、宇宙、産業用部品を対象とした熱処理、HIP、接合及びその他の金属加工の生産活動を行っており、日本のマザーレイク「琵琶湖」の東部、滋賀県愛知郡愛荘町に位置している製造メーカーであり、環境保全への取組みを経営の重要な柱の一つとして捉え、次の通り方針を定めます。

【 基本方針 】

基本理念に基づき、当工場は以下に掲げる事項を行動方針として、積極的に推進します。

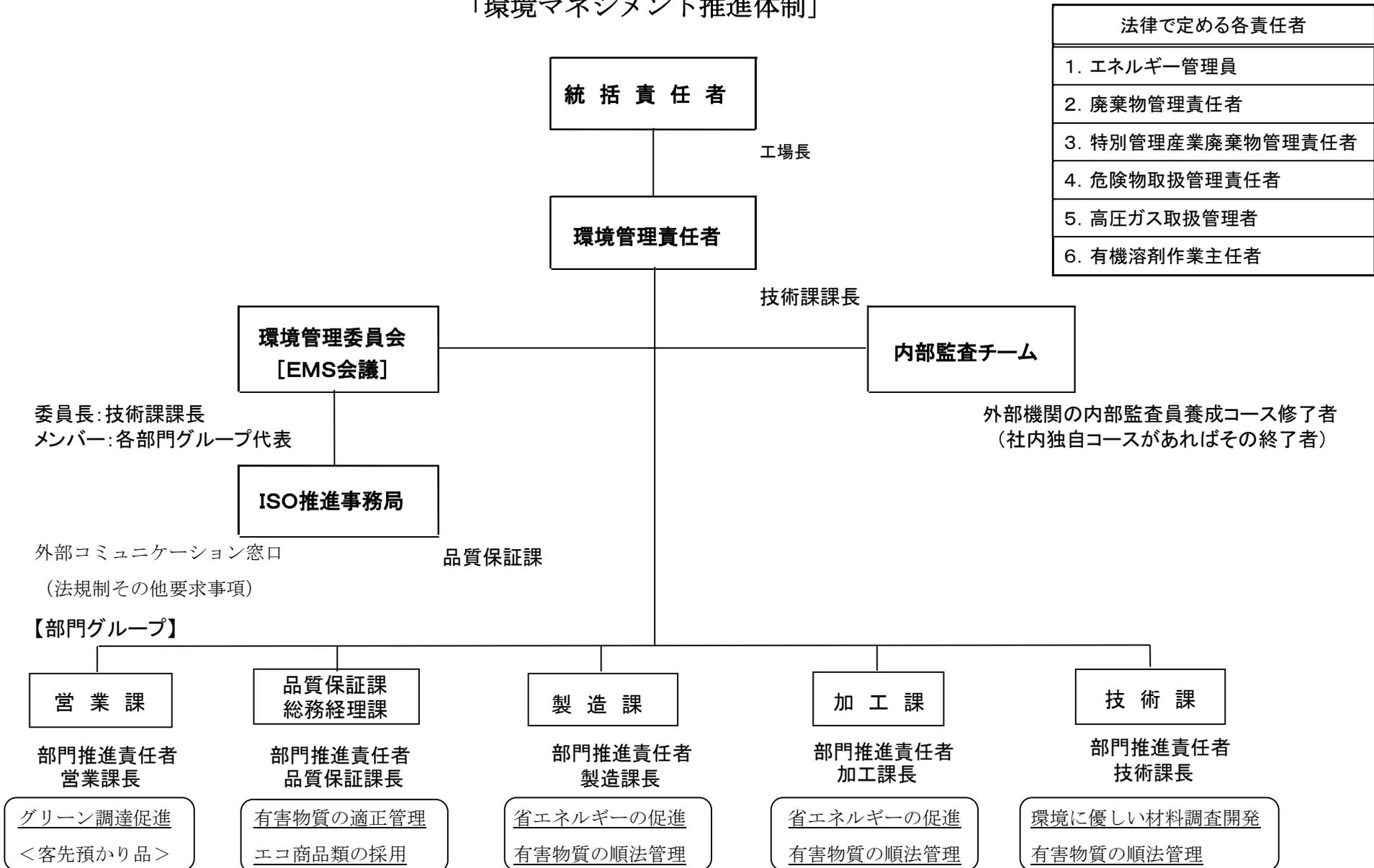
1. 当工場の活動、製品及びサービスの性質、規模及び環境影響を評価して、省資源・省エネルギー及び廃棄物の保管管理並びに処理の適正化順守に取り組み環境負荷を低減し、生物多様性及び生態系に配慮すると共に環境汚染の予防に努めます。
2. 環境に関する法律・条例及び当工場が同意するその他の要求事項を順守します。
3. 技術的・経済的に可能な範囲で、環境目標及び環境マネジメントシステムを定め、定期的な見直しを行いながら、環境パフォーマンスの向上と環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。
4. 環境方針は文書化し、工場のために働く全ての人に周知させると共に、社外からの要求に対して開示します。

2019年 3月 1日

金属技研株式会社 滋賀工場

工場長 宮越 祐次

「環境マネジメント推進体制」



(第2面)

4 これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

2015年実績

(1)省エネルギー

新FA工場天井の水銀灯15灯をLEDに交換(11.475kwh→2.055kwh)
HIP工場準備室、障壁内の水銀灯22灯をLEDに交換(10.010kwh→1.281kwh)

(3)省資源

・ペットボトルキャップ・プルトップの回収
ペットボトルのキャップ:5.5kg プルトップ:収集中
・リサイクル製品・ECO商品購入推進 1件以上/年
ネームランドカートリッジを詰め替え用に変更した。

2016年実績

(1)省エネルギー

電力の使用量を前年度比0.2%削減する。(原単価/付加価値生産高)

(2)環境汚染の予防

燃えるゴミの削減

(3)省資源

リサイクル製品・ECO商品購入を推進する。
全部署で2件/年を目標

2017年取組実績

(1)省エネルギー

2015年度比0.2%削減する。(原単価/付加価値生産高)

(2)環境汚染の予防

燃えるごみの削減

(3)省資源

リサイクル商品・ECO商品購入を推進する。
(廃材を利用した再利用の推進)

2018年取組実績

(1)省エネルギー

2015年度比0.2%削減する。(原単価/付加価値生産高)

(2)環境汚染の予防

燃えるごみの削減前年度比1%削減

(3)省資源

リサイクル商品・ECO商品購入を推進する。
再利用省資源に繋がる改善を行う。

2019年取組実績

(1)省エネルギー

電力の使用量を2016年～2018年の平均比1%削減する。(原単価/付加価値生産高)

(2)環境汚染の予防

燃えるごみの削減前年度比5%削減

(3)省資源

リサイクル商品・ECO商品購入を推進する。
再利用省資源に繋がる改善活動を行う。

(第3面)

5 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実施スケジュール
1	設備導入対策	工場内の水銀灯、蛍光灯をLED化に推進	2020年～2022年
2	運用改善	設備モーターの空運転を止めて停止する。	2020年～2022年
3			
4			
5			
6			
7			
8			

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	取組の内容	実施スケジュール
1			
2			
3			

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

<p>原単位を2017年～2019年の平均比1%削減</p> <p>なお、原単価の考え方は次の通りです。 弊社は、電力を全て購入している為、電力使用量を削減する事でCO₂削減を行います。</p> <p>原単価 = 使用電力量 / 付加価値生産高 で2017年～2019年の平均比1%削減</p>
--

(第5面)

7 その他の低炭素社会づくりに向けた取組

	取組項目	取組の内容および当該取組により達成しようとする目標	実施スケジュール
1	燃えるごみの削減	燃えるごみの量を前年度比5%削減	2020～2022年度
2	ゴミの分別	産業廃棄物を分別し再利用化を図る。	2020～2022年度
3	省資源	焼入油の再利用を行う。	2020～2022年度
4	省資源	省資源、再利用に関する改善活動を行う。	2020～2022年度
5			
6			
7			
8			